

**2020年9月期 第4四半期(通期) 決算説明会 質疑応答の要旨**

2020年10月29日に開催した第4四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

**◆今期の見通しについて**

**Q1. 通期業績予想について**

A1. 収益については、足元のモメンタムの強さを認識しつつも、今後のCOVID-19における見通しの難しさを踏まえ、計画は保守的に立てている。

**Q2. 中期経営方針について**

A2. デジタルマーケティング事業におけるデータ・ソリューション領域の構成比拡大、メディアプラットフォーム事業での赤字幅の縮小による利益率の改善を見込んでいる。特にデータ・ソリューション領域では、グループ内の再編により機動的に企業のDXやデータ・ソリューションの需要増加に対応できるようにしていく。

**◆デジタルマーケティング事業について**

**Q3. 4Qにおける広告需要の取り込みについて**

A3. 従来から広義のEC領域(物販のみならずサービスコマース、コンテンツコマースといったEC関連業種)を戦略的に取り込んでおり、4QはCOVID-19影響によるオンライン消費の押し上げも貢献した。

**Q4. 電通協業について**

A4. 協業顧客数に減速感はなく順調であり、今期においても持続的な成長を見込んでいる。また、電通協業と自社単独の双方で、大手顧客を中心に案件の獲得が進んでいる。

**◆メディアプラットフォーム事業について**

**Q5. マンガコンテンツ事業について**

A5. GANMA!の広告収益は大手ブランド広告主に集中しており、市場の回復ペースは鈍いものの、需要は戻りつつある。今後は広告に加え、ユーザ課金領域とD2C領域における収益の上昇を見込んでいる。

以上